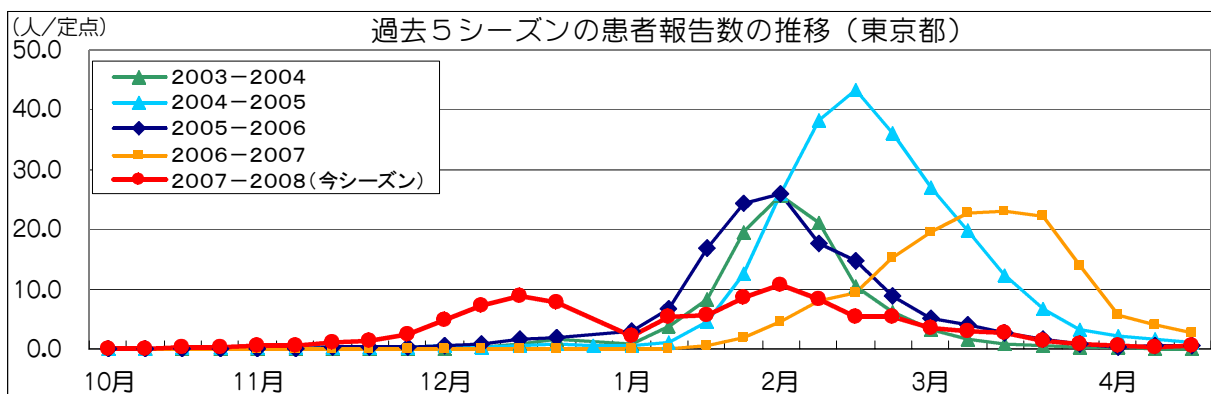


東京都 インフルエンザ情報

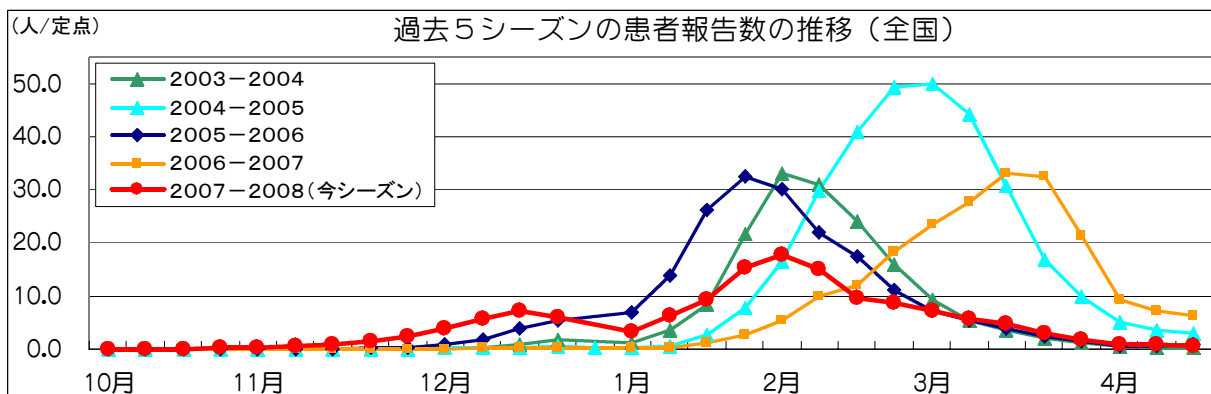
東京都健康安全研究センター

今号(第18号)のトピックス

- 第16週(4月14日から20日)のインフルエンザ患者報告数は141人、定点当たり 0.49人 (先週:同112人、0.39人、昨年同期:定点当たり 2.64人)
- 年齢階級別患者報告数
- ウイルス検出状況
- 今シーズン検出されたインフルエンザウイルスの遺伝子系統樹



2004-2005シーズンに限り53週があります。



1 患者発生状況(第16週)

インフルエンザ定点*からの第16週(4月14日から20日)の患者報告数は東京都で 141人、定点当たり0.49人です(先週:同112人、0.39人、昨年同期:定点当たり 2.64人)。全国の患者報告数は 3,335人、定点当たり0.71人です。

文京、池袋、江戸川、町田、多摩小平の各保健所管内で定点当たりの患者報告数が1人を超えています。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

2 今シーズンのまとめ

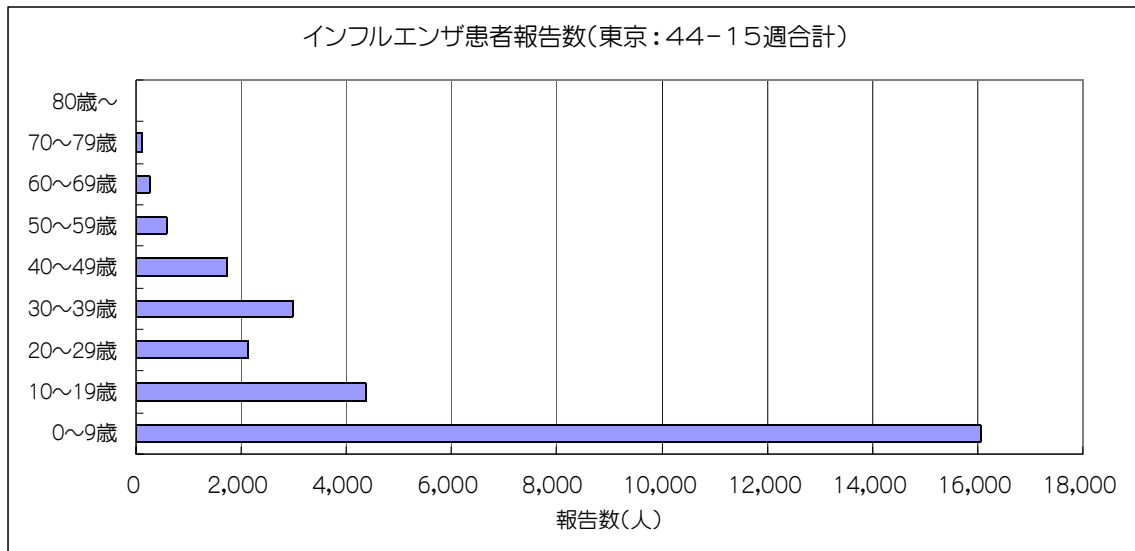
東京都における今シーズン流行は、1999年の調査開始以降、最も早い2007年46週(11月12日から18日)の定点当たり患者報告数1.02人

から始まり、51週（12月17日から23日）には8.78人とピークを観測しました。その後、2008年1週（12月31日から1月6日）に患者報告数が2.20人まで低下しましたが、再度、増加を示し5週（1月28日から2月3日）には10.60

人と二度目のピークがみられました。

一方、定点医療機関から搬入された検体から検出されたウイルスの種類は、流行開始時点ではA H 1 亜型が主流でしたが、1月以降はA H 3 亜型とB型が加わりました。

（1）年齢階級別患者報告数



今シーズンのインフルエンザ定点医療機関からの定点当り患者報告数の累計は過去10年間で8位（98.38人）となり、小規模の流行となりました。患者報告数を年齢階級別にとめると上図のようになります。

小児科が大部分を占めるインフルエンザ定点からの報告であるため、東京都では、0～9歳の年齢域の患者報告数が全体の約57%を占めています。

（2）ウイルス検出状況

定点医療機関からインフルエンザや上気道炎、下気道炎などの診断名で、当センターに搬入された検体877件についてウイルス検査を実施した結果、247件からインフルエンザウイルスが検出されました（表1）。この247件の内訳は、A H 1 亜型207件、A H 3 亜型28件、B型12件でした。

今シーズンは、都内26地区から小学校等における集団発生（学級閉鎖）の検体として、合計101件が当センターに搬入されました。これらの検体についてウイルス検査を実施し

たところ、99件からインフルエンザウイルスが検出されました（表2）。この99件はすべて、A H 1 亜型でした。

次ページに定点医療機関から搬入された検体からのウイルス検出状況を週別に示しました。2007年中はA H 1 亜型だけが検出され、A H 3 亜型は2008年第2週に、B型は第7週に初めて検出されました。シーズン後半にはA H 1 亜型、A H 3 亜型、B型の3つの型すべてが検出されています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

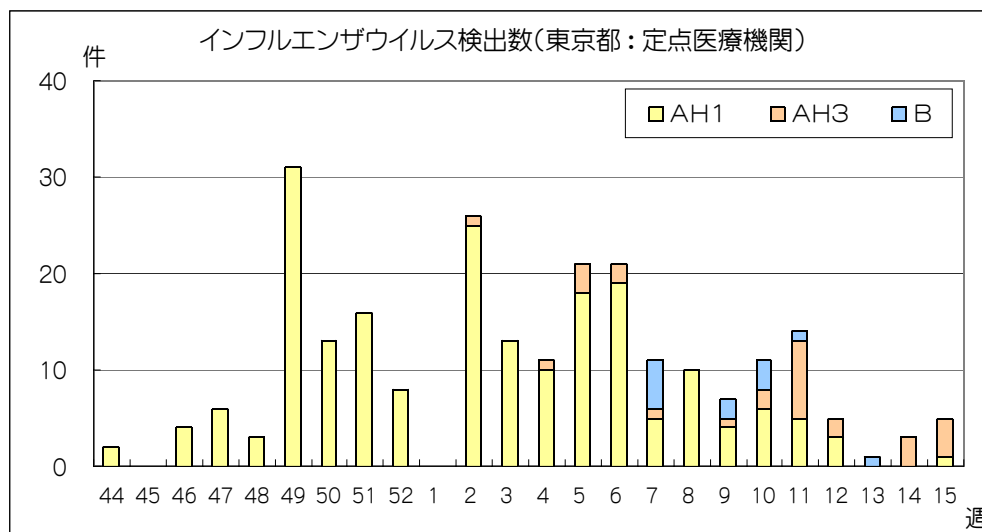
週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
			AH1	AH3	B
36-43週 (9/3-11/4)	88	5	5	0	0
44週 (10/29-11/4)	23	2	2	0	0
45週 (11/5-11)	28	0	0	0	0
46週 (11/12-18)	30	4	4	0	0
47週 (11/19-25)	24	6	6	0	0
48週 (11/26-12/2)	30	3	3	0	0
49週 (12/3-9)	68	31	31	0	0
50週 (12/10-16)	54	13	13	0	0
51週 (12/17-23)	43	16	16	0	0
52週 (12/24-30)	25	8	8	0	0
1週 (12/31-1/6)	7	0	0	0	0
2週 (1/7-13)	61	26	25	1	0
3週 (1/14-20)	31	13	13	0	0
4週 (1/21-27)	28	11	10	1	0
5週 (1/28-2/3)	39	21	18	3	0
6週 (2/4-10)	42	21	19	2	0
7週 (2/11-17)	43	11	5	1	5
8週 (2/18-24)	25	10	10	0	0
9週 (2/25-3/2)	25	7	4	1	2
10週 (3/3-9)	30	11	6	2	3
11週 (3/10-16)	44	14	5	8	1
12週 (3/17-23)	15	5	3	2	0
13週 (3/20-30)	34	1	0	0	1
14週 (3/31-4/6)	20	3	0	3	0
15週 (4/7-13)	20	5	1	4	0
合計	877	247	207	28	12

表2. 学校での集団発生として搬入された検体の検査結果

搬入日	管轄保健所	集団種別	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス		
					AH1	AH3	B
10月22日	江東区	幼稚園	3	3	3	0	0
10月23日	多摩府中	小学校	3	3	3	0	0
10月29日	町田	小学校	5	5	5	0	0
10月30日	練馬区	小学校	5	5	5	0	0
10月31日	池袋	小学校	5	5	5	0	0
11月5日	世田谷	小学校	4	4	4	0	0
11月7日	杉並	小学校	4	4	4	0	0
11月7日	多摩小平	小学校	4	4	4	0	0
11月13日	南多摩	小学校	4	4	4	0	0
11月15日	新宿	小学校	4	4	4	0	0
11月19日	渋谷区	幼稚園	2	2	2	0	0
11月21日	多摩立川	小学校	4	3	3	0	0
11月21日	江戸川区	小学校	5	4	4	0	0
11月21日	品川区	小学校	4	4	4	0	0
12月3日	板橋区	小学校	2	2	2	0	0
12月3日	中野区	小学校	5	5	5	0	0
12月4日	八王子市	小学校	5	5	5	0	0
12月4日	台東	小学校	5	5	5	0	0
12月4日	中央区	小学校	2	2	2	0	0
12月6日	北区	小学校	3	3	3	0	0
12月10日	葛飾区	小学校	3	3	3	0	0
12月11日	西多摩	小学校	5	5	5	0	0
12月17日	大田区	小学校	1	1	1	0	0
12月20日	足立区	小学校	5	5	5	0	0
1月17日	島しょ	中学校	5	5	5	0	0
1月18日	島しょ	中学校	4	4	4	0	0
合計			101	99	99	0	0

2008年4月25日現在の値です。
既報の情報とは一部、異なる場合があります。

* 各保健所管内における初発の集団発生を検査対象とした。



(3) 今シーズン検出されたインフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹(東京都)

AH1 (Aソ連) 亜型の流行株は、図1に示したとおり大きく2つのグループに分かれました。WHO (世界保健機構) により選出された次シーズン(2008/2009年)のワクチン推奨株(A/Brisbane/59/2007:H1N1)は、グループ①に含まれた株が選出されています。

AH3 (A香港) 亜型の流行株は、図2に示したとおり、今シーズンのワクチン株

(A/Hiroshima/52/2005)と昨シーズン流行株の一部を含む大きなグループに含まれました。次シーズンのワクチン推奨株には、今シーズンの流行株グループと系統樹上で近い株(A/Brisbane/10/2007:H3N2)が選出されています。

B型の流行株は、図3に示したとおり今シーズンのワクチン株(B/Malaysia/2506/2004)

に採用されたVictoria系統の株ではなく、一昨年(2005/2006年)のワクチン株(B/Shanghai/361/2002)が含まれる山形系統の株でした。都内における山形系統株の流行は、2004/2005年シーズンにも認められており、今シーズ

ンも一時的に流行の兆しはありましたが、大流行には至りませんでした。なお、次シーズンのワクチン推奨株には、今シーズンの流行株と近縁な株(B/Florida/4/2006)が選出されています。

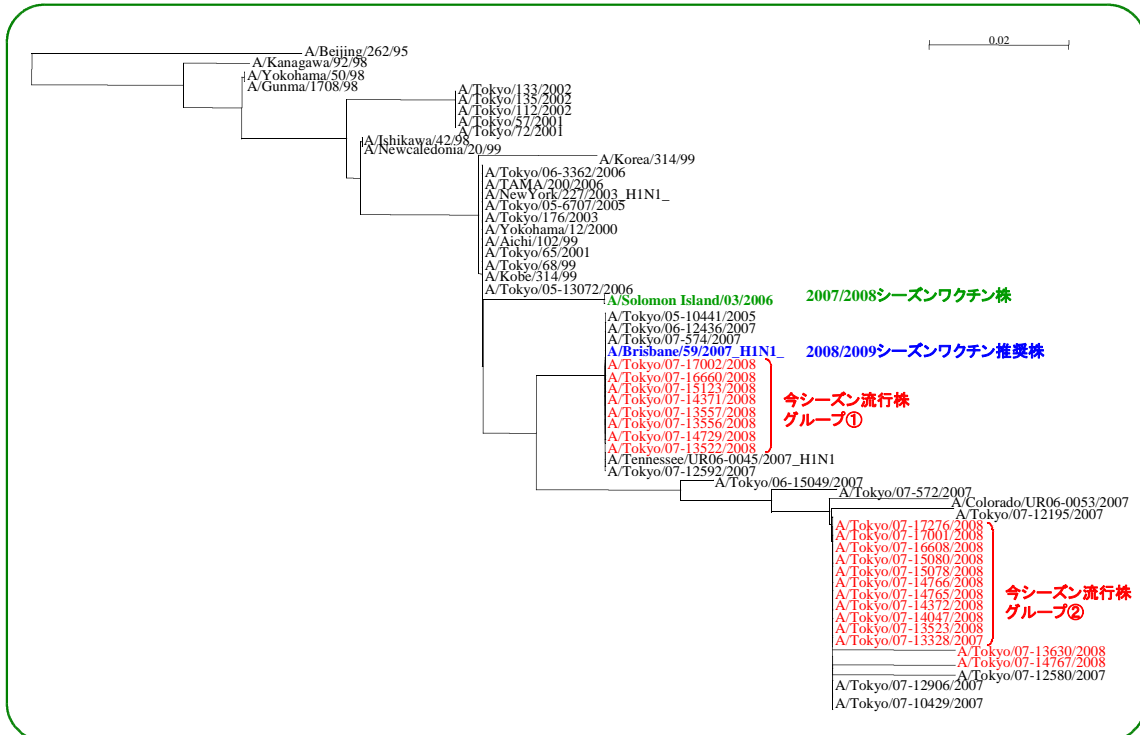


図1. 東京都におけるA H1 亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

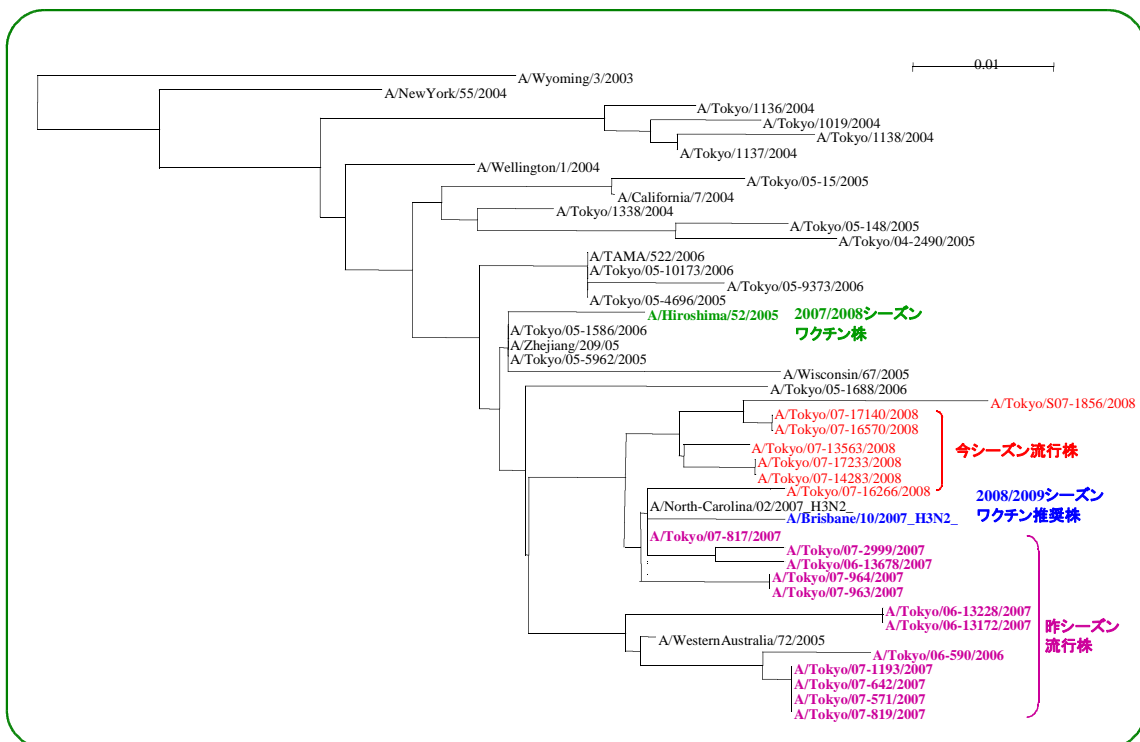


図2. 東京都におけるA H3 亜型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

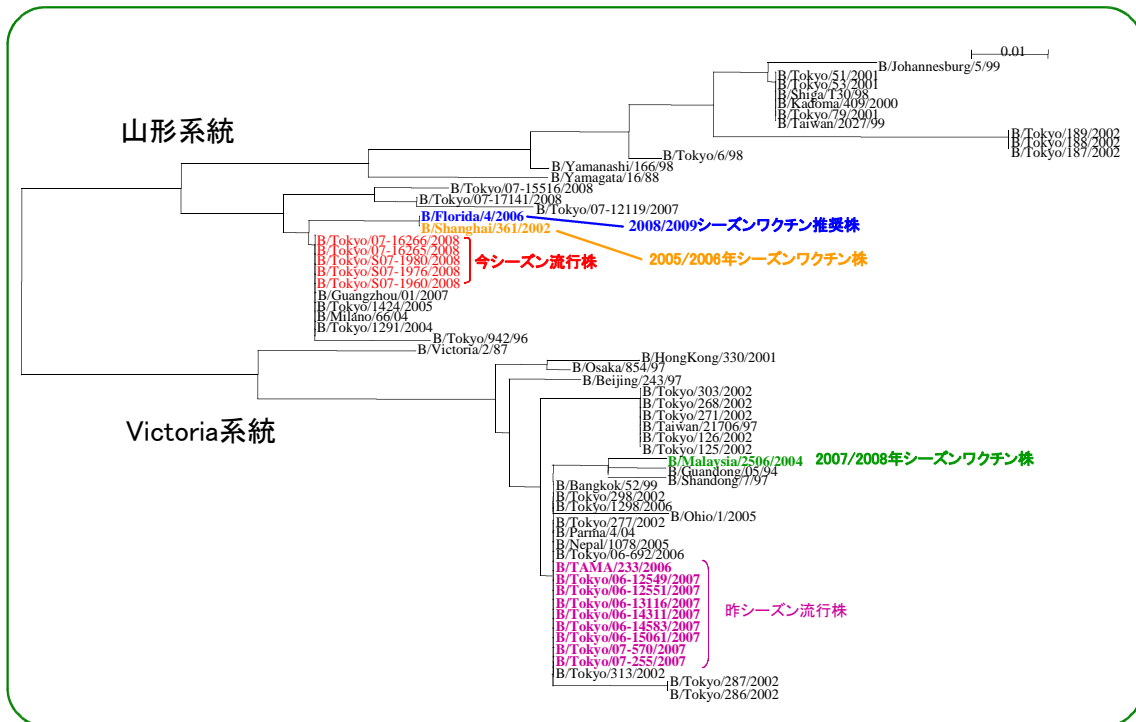


図3. 東京都におけるB型インフルエンザウイルスのHA遺伝子系統樹

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

idsc@tokyo-eiken.go.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/

この号が今シーズンの最終号となります。来シーズンは11月上旬頃から発行する予定です。